



THE ROTARY CLUB OF SADOWARA WEEKLYBULLETIN

佐土原ロータリークラブ週報

1995・96年度国際ロータリー・テーマ 国際ロータリー会長 ハーバート・グラハム・ブラウン



Act with Integrity
Serve with Love
Work for peace

〈本日のプログラム〉

第 376 回 平成 7 年 8 月 18 日(金)

1. 点 鐘
2. ロータリーソング
「我等の生業」
3. 食 事
4. 会 長 の 時 間
5. 幹 事 報 告
6. 各 委 員 会 報 告
7. 会 員 卓 話 伊東忠寛君
8. 点 鐘

会 長 藤 堂 孝 一
副 会 長 斎 藤 芳 夫
幹 事 福 井 輝 文
会 計 中 武 靖 雄
会 議 委 員 長 垂 水 敏 雄

佐土原ロータリークラブ

例会日 毎週金曜日(12:30~13:30)

例会場 ホテル神宮寺 ☎0985-73-0015

事務所 ☎880-02佐土原町大字下田島7912

(株) 福井工務店内 ☎0985-73-0291

第 3 7 5 回例会記録

(1995. 8. 11)

☆会長の時間

藤 堂 孝 一 君

皆さん今晚は、本日は第375回例会です。8月6日(日)に実施されました佐土原町新ひむかづくり道路愛護デーの奉仕作業に、多数の会員の方にご参加いただき、誠にありがとうございました。

先日のガバナー公式訪問についての礼状が、竹内三郎ガバナー及び随行された宮崎西RCの岩切承自君から届いています。皆さんにくれぐれもよろしく申し上げてくださいとのことです。

9年ぶりに妻の実家の稲刈りを加勢しましたが、暑さばかりでなく、米にも命があるのか、疲れが違うように感じました。農家の方々のご苦労がしみじみと分かった一日でした。

☆幹事報告

福 井 輝 文 君

1. 例会変更通知

*延岡東RC

8月14日は特別休会

8月21日 6:00

今山大師寺

2. FAX専用回線設置のお知らせ

*日向・日向東・日向中央RC

FAX番号 0982-52-3525

なお、8月12日～16日まではお盆のため、事務局は休業となります。

☆出席報告

委員長 恒 吉 正 志 君

会 員 数	30名
H C 出席者数	23名
欠 席 者 数	7名
出 席 率	76.7%
メークアップ者数	3名
修 正 出 席 率	86.7%
欠 席 者 名	赤木・柳田・笹丸・加藤

☆社会奉仕委員会より

委員長 伊 東 忠 寛 君

会長からもお話しがありましたが、当クラブの社会奉仕活動の一つとして計画しております、道路愛護運動の推進について、佐土原町新ひむかづくり道路愛護デーへの参加をお願いしましたところ、日曜日の早朝にもかかわらず20名もの方がお集まりくださりまして、佐土原バイパスの空缶・空瓶・ごみの收拾にご尽力いただき、本当に感謝のほかございません。厚くお礼を申し上げます。

お陰様で佐土原ロータリークラブの存在を、地域住民の皆さんが次第に認識されつつあるように思います。今後とも、このような地域に密着した社会奉仕活動を推進したいと考えていますので、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

会員増強について

藤堂会長より、今月は会員増強及び拡大月間で、竹内ガバナーから、会員増減の状況を2週間ごとに報告するよう依頼

がありましたので、1名づつでも新会員を勧誘し、1名の退会者も出さないようにお互いしっかり頑張っていこうと思ひます、と決意表明がありました。

続いて正岡会員増強委員長より、次のように提議されました。

昨年度は皆様のご協力のおかげで、ようやく会員数が30名に達することができました。今年度は何としてでも35名にしたいと考えています。会員一人一人が、1名の新会員を獲得するという意気込みで、一層のご尽力をお願い申し上げます。

新富町は井下会員お一人ですので、積極的に新会員勧誘に廻る必要があります。

なお、宮崎太陽銀行との懇談会の際にロータリーへの入会を勧めましたところ、佐土原クラブから同銀行西佐土原支店長を会員候補者として推薦してもらいたいとの申し出がありましたので、歴代会長の推薦状を持って訪問したいと思います。

また、竹内ガバナーより打診がありました、女性会員の入会についても、検討が必要かと考えます。

西都RCの例会にメイクアップされた田村会員から、同クラブが全会員に配布している『新入会員推薦のお願い』の文書の紹介があり、非常に参考になりました。

フリートーキングに入って、会計の中武君から、当クラブのチャーターナイト決算残金の特別会計への繰入れについて相談がありましたが、口座はそのまま置く

ことで、全員の同意がありました。

また、藤堂会長から、現行の会費月額1万円に、佐土原クラブ創立10周年記念事業費積立金2千円を加えて、会費月額1万2千円に改定することについて検討を求められましたが、全員異議はありませんでした。この件については、後日理事会で最終決定がされると思われます。



朝妻 利雄 氏

日本人の生活で欠けていると思われるのは、“食卓を楽しむ”ことである。家庭の食卓でも、母親はこの時とばかりに子どもたちに説教を始める。子どもは途端に食欲が減退し、却って親に反抗心を抱くようになる。

小・中・高校生ぐらいの子どものいる食卓では、決して説教などしないことである。明るく楽しい雰囲気になった食卓を心掛けねばならない。また外国人のいる食卓では、政治・宗教・人種・病気の話は絶対してはいけない。

レストランでの招待会食は主賓や初対面の人と同席するため、自然と固くなりがちである。

話が固くなると食欲もなくなる。そんな時には、少しぐらいエッチな笑い話を提供することも必要である。例えば、森繁が旅館で女マッサージ師を呼び、指先で物の名を当てさせた話。(彼女のモノ=女性自身、森繁のモノ=主婦の友、三木のり平のモノ=平凡)と彼女も見事。

最近ではグルメ時代である。グルメとは語源はきき酒の名人のことであり、転じて食通の意味。

大食漢・好き嫌いなし・酒類は何でも飲める・話題が豊富で楽しく会話ができる、ことがグルメの要素である。黙々と食事するのを外国人は「動物的な食べ方」といって嫌っている。

会員増強について、「ロータリーの友」で
の先輩たちの意見を集約してみました。



- よく、会員増強とは、単に会員を増やすことだけではなく、質を高めることが大切であるといわれている。
では、ロータリアンの質とは果して何であろうか。
- ロータリアンの質とは、つまるところ”奉仕の心”であり、富や仕事の大きさではないことを、しかと認識することが肝要である。
奉仕の心は社会全体が望むところであり、できるなら社会全体が参加すべき運動である。
ロータリーが一人でも多く会員を増やすことは、社会的責任であると思う。
- 要するに、ロータリアンの資格はそんなにやかましいものではなく、ロータリーを楽しみ、その中で奉仕の哲学をわがものにしたいと望む善意の人であればよいと考える。
- 新入会員推薦は会員一人一人の義務である。そのため各会員は、入会候補者に対して効率的にロータリー情報を与えることができるようにしておくことが重要である。
さらに、会員各位が未充填の職種に常に留意し、新会員を推薦する方法を心得ていることが大切である。

- ロータリークラブの活性化のためには、若い力が必要である。
若い人たちの入会で考えなければならないことの一つは、入会金、年会費が過重にならないことであろう。
あるパスト・ガバナーは、お金のかからないロータリークラブが理想であると言っている。
最近は小人数のクラブも、多人数のクラブも、同じ財政的負担をしている。
そのため、小人数のクラブは内部充実が困難ではないだろうか。
この辺でロータリーのあり方を考えることも必要ではないか。
- 要は、苦心、熱心、決心の三つがなくては会員増強の実現を見ないのである。
何よりも会員各自の誠意・熱意・創意による実践こそ、拡大増強結果への道であると言える。

佐土原藩の学習館の先生で「成斎」という人がいました。成斎は有名な長便所で、しかも、門人は出勤前に教えを受けるようになっていたため、その時間帯が一緒になり困りました。そこでやむなく成斎は、門弟を便所の戸の前に順番に呼び、便所の中から教えることにしました。呼ばれた門人は、戸の前に正座し両手を床について頭を下げ、師の教えを待ちます。恐らく快便ばかりの日はないと思われるので、運の悪い時は、何とも言えない芳香(?)や伴奏音がただよって来たことでしょう。教授の仕方は、先ず門弟に素読をさせその後成斎が大声で講義をしたということです。

